

群馬での人口当たりの交通事故件数は全国ワースト

- 群馬県における2025年の交通事故件数は、9,095件であった（図表1）。これを都道府県別で見ると、上位は東京、大阪、愛知、神奈川など大都市を抱える地域であり、群馬は10番目であった。
- これを人口10万人当たりで比較すると、群馬県は全国でワーストとなった（図表2）。群馬県警察本部交通企画課によると、群馬県は人口に占める運転免許保有率が全国で2番目に高いことや、1人当たりの自家用乗用車の普及率が全国上位であることなど、マイカーへの依存度が高いことが要因のひとつではないかとのこと。
- 群馬県における過去10年の交通事故発生件数は、増減を伴いながらも減少傾向で推移している（図表3）。同交通企画課は、高齢者を中心とした事故防止対策、飲酒運転根絶に向けた諸対策や交通指導取締りにより、県民の交通安全意識が高まった結果と考えており、今後も悲惨な交通事故を1件でも少なくするために、関係機関・団体と協力し、各種交通安全対策を推進していくという。

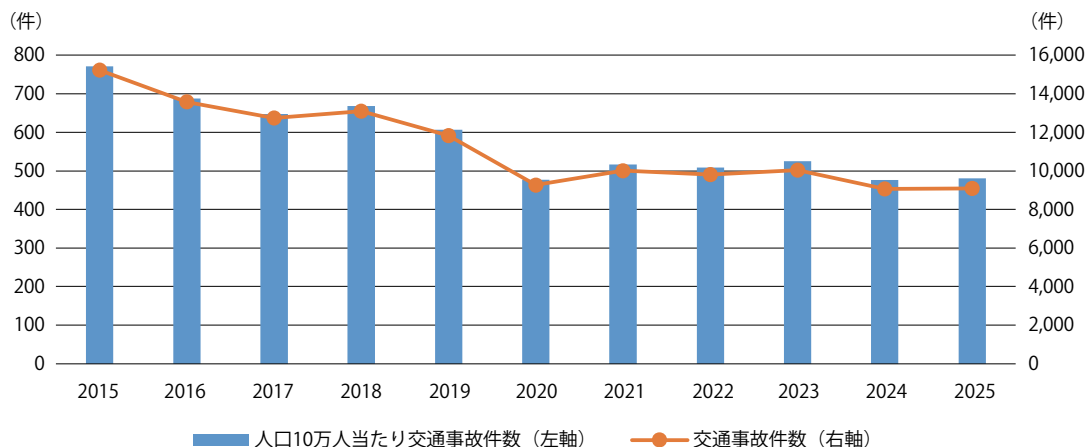
図表1 交通事故件数（2025年）

順位	都道府県	件数
1	東京都	30,176
2	大阪府	25,056
3	愛知県	24,793
4	神奈川県	21,324
5	福岡県	17,368
6	静岡県	16,511
7	埼玉県	15,619
8	兵庫県	14,458
9	千葉県	12,617
10	群馬県	9,095
	全国計	287,023

図表2 人口10万人当たり交通事故件数(2025年)

順位	都道府県	件数
1	群馬県	481
2	静岡県	468
3	福岡県	341
4	愛知県	332
5	佐賀県	300
6	香川県	289
7	大阪府	286
8	徳島県	277
9	兵庫県	271
10	岡山県	256
	全国平均	232

図表3 群馬県における交通事故件数の推移



資料：警察庁「交通事故の発生状況」より当研究所作成
 ※本稿における交通事故件数は、人身事故の発生件数を指す。

(担当：櫻澤広祥)